

第8回熊本県高校生ものづくりコンテスト

電気系 電子回路組立部門 課題

※赤い部分が変更となりました。

1 期 日

平成23年6月18日(土)～19日(日) 会場：実習棟3階 電子制御実習室

2 日 程

[1日目]

受付 13:30～14:00 会場：実習棟3階 電子制御実習室

打合せ・準備 14:00～16:00

※競技内容説明及び競技上の注意事項について など

[2日目]

受付 8:00～ 場所：事務室前

開会式 9:00～9:20 会場：工業技術基礎実習室

部品等チェック 9:30 会場：実習棟3階 電子制御実習室

競技 9:45～12:15 (競技時間 2時間30分)

～昼食・審査～

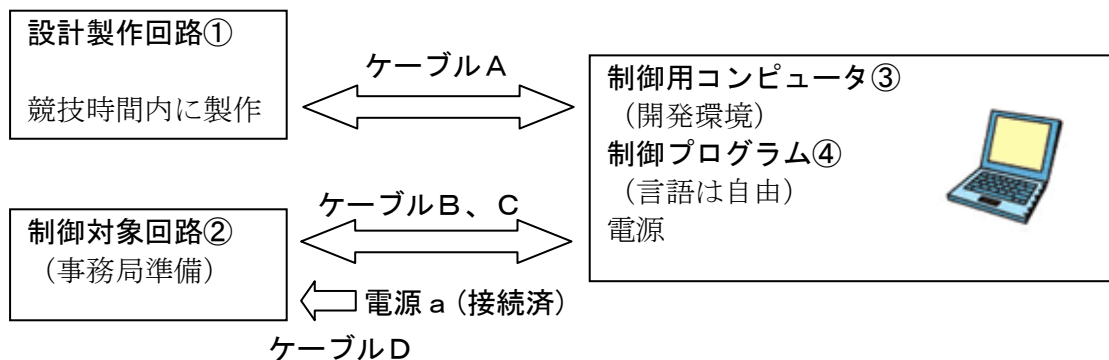
閉会式 15:30～15:50 会場：工業技術基礎実習室

講評(希望者のみ) 15:50～ 会場：実習棟3階 電子制御実習室

3 課 題

競技時間中に製作する『設計製作回路①』と大会当日に配布する『制御対象回路②』を、事前に製作したケーブルにより『持参コンピュータ③』と接続し、競技時間内に『制御プログラム④』を作成し、目的の動作を行うシステムを完成させる。

なお、『制御対象回路②』は、持込み可とする。



(1) 設計製作回路①

大会当日に示す設計仕様に基づく電子回路を設計し、ユニバーサル基板を用いて電子回路基板を製作する。配線はスズメッキ線を使用し、設計製作回路は以下の部品を使用する。

① ユニバーサル基板 (サンハヤト ICB293相当品)

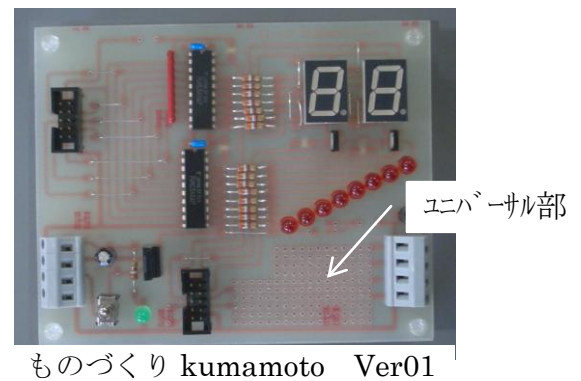
② フォトインタラプタ、スイッチ、コネクタ、0.3φスズメッキ線等

(2) 制御対象回路②

大会当日に競技委員から配布する。制御対象回路は、熊本県ものづくりコンテスト事務局が製作した『ものづくり kumamoto Ver01』を配布する。回路図及び部品については、別紙のとおりである。ユニバーサル部分及び外部にLEDやモータドライバなどを取り付けることもある。

なお、『ものづくり kumamoto Ver01』は、各校が持参したのものを使用してもよい。

また、次のとおり購入できる。



ものづくり kumamoto Ver01

【取扱業者名】ミヤデンパーツ株式会社

<http://www.miyaden-p.jp/>

Tel 03-3254-5505 fax 03-3254-5504

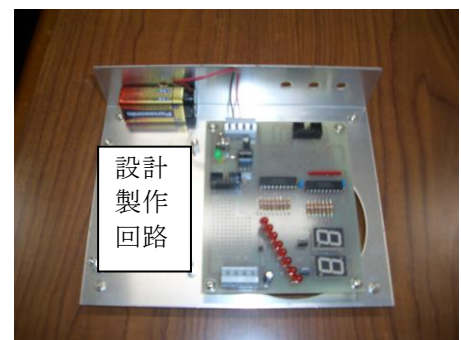
【商品名】

「熊本高校生ものづくりコンテスト用セット
(基板及び部品一式)」

【金額】

1セット 2,480円

(送料別：価格は平成22年5月現在)



シャーシに取り付けたところ

(3) 制御用コンピュータ③

開発環境及び電源を含めて持参する。コンピュータの性能・形状等に制限はない。

(4) 制御プログラム④

大会当日に提示する仕様に基づいたプログラムを作成する。使用する言語は、自由である。なお、プログラムの仕様例として、次のようなものがある。

- ① 時間計測や電圧測定プログラム
- ② 回転制御プログラム など

「プログラミング技術」は、各課題に点数をつけておく。動作した課題の点数の合計（これを「合計得点」と呼ぶ。）を「プログラミング技術」の点数とするが、合計得点が40点を超える場合は、「40点」とする。

※6 採点基準の(2)順位の決定方法の②を参照。

(5) 接続ケーブル

- ① 接続ケーブルA 「設計製作回路①」～「制御用コンピュータ③」
ボックス型コネクタ（オムロン製 XG4C-1031、2列10P）が1系統
- ② 接続ケーブルB及びC 「制御対象回路②」～「制御用コンピュータ③」
ボックス型コネクタ（オムロン製 XG4C-1031、2列10P）が2系統
- ③ 接続ケーブルD（電源用）
端子台（ML-950-4、4極 端子ピッチ5mm）
※「制御対象回路②」に必要な「電源a」の接続ケーブルは接続済のものを配布する。



ML-950-4:写真は8極

4 作業条件

(1) 競技時間 2時間30分(150分)

(2) 競技実行委員が配布及び準備するもの

- ・『設計製作回路①』で使用する部品および材料等
- ・『制御対象用回路②』（「電源a」及び制御素子等を含む）
- ・コンテストで使用する部品の規格表
- ・A4サイズ方眼紙（設計図提出用）
- ・ソースリスト提出用記録媒体（USBメモリ）
- ・AC100V コンセント（3口）
- ・接続ケーブルA、B、C、D

(3) 競技者が準備するもの

- ・「制御用コンピュータ③」及び開発環境、コンピュータ用電源
- ・工具類及びテーブルタップ
- ・筆記用具及び定規、テンプレート類

工具類とは、各自の作業に必要なもので、はんだごて、こて台、はんだ吸い取り器、ニッパ、リードペンチ、ドライバ、テスタ、保護めがね、基板支持台 等

(4) 競技者の服装等

- ・競技中は、各学校で使用している作業服を着用する。
- ・はんだ付けの作業時には、保護メガネを着用する。ただし、メガネをかけている場合はこの限りではない。

(5) 注意事項

- ① 作業を行うにあたっては、安全に十分注意する。
- ② 配布された部品及び材料以外のものは、使用しない。
- ③ 規格表・命令表が必要な場合は各自で準備し、大会前日に承認を受ける。
- ④ 事前に製作したヘッダーファイルは、大会前日に申請し内容の承認を受ける。
- ⑤ ソースリストは、テキスト形式で記録媒体（USB）に保存・提出する。

5 審査対象

- (1) 『設計製作回路①』の設計図（A4方眼紙）
- (2) 『設計製作回路①』の製作済基板
- (3) 仕様に対応する動作
- (4) プログラムのソースリスト（動作を優先・確認用として使用）
- (5) その他（作業態度等）

6 採点基準

(1) 採点項目と観点

項目	配点	観 点
プログラミング技術	40	・動作
組み立て技術	30	・部品処理 ・はんだの状態 ・配線 ・配置
設計力	20	・正確さ ・配置 ・記号 ・文字
その他	10	・作業態度 ・作業工程
合 計	100	

(2) 順位の決定方法

- ① 合計得点の高い順に、1位、2位、3位・・・とする。
- ② 同点の場合は、「プログラミング技術」の得点の高い選手を高位とする。
※「プログラミング技術」が「40点」で同点の場合は、「合計得点」の高い選手を高位とする。
- ③ 「プログラミング技術」の得点も同点の場合は、「組み立て技術」の得点の高い選手を高位とする。
- ④ さらに同点の場合は、「設計力」の得点の高い選手を高位とする。それでもなお同点の場合は、全体の完成度から順位を決定する。

7 その他

(1) 鉛フリーはんだについて

無鉛（鉛フリー）はんだ（**ホーザン HS314、HS133、HS312**）を使用する。

(2) 動作確認について

プレ審査時に競技実行委員の指示に従い、競技者が操作して課題の動作確認を行う。

(3) 設計製作回路・当日の課題プログラム

『設計製作回路①』の回路図については、事前公開しない。

また、当日作成する制御プログラムに関しては、事前公開はしない。

(4) その他

参考資料や質問に対する回答などは、次のホームページに随時掲載するのでご利用ください。

<http://www.mono2kuri.biz>

また、技術的なご質問などについては、上記URLからお問合せできます。